



深山たかし

発行元：深山たかし後援会

上尾市大字上1774-7

048(776)0575

fukayama-sov@jcom.home.ne.jp

ホームページは検索サイト

”深山たかし”で閲覧できます。

議会レポート

一般質問の醍醐味！

六月議会で議会の一般質問も**連続二十一回目**になりました。

議員は年間で四回の一般質問が可能です。

毎回平均すると三十名中二十名前後の議員が質問を行います。議員によって得意な分野や視点も違います。

特に国会で話題になっていることや、社会的なニュース等は、題材としてはタイムリーですね。

従って、担当になった職員は、質問取りが大変な作業になっています。

私の場合は、あまりニュース性に左右されず、多方面にわたり質問をすることにしています。

たとえば、前回、教育や

経済・財政問題を取り上げたので今回は、環境と防災・福祉と言った具合です。また、シリーズ化して回を重ねて具体的に回答してもら

う様な方法も採っています。市民の皆さんの興味は千差万別です。行政に対する要望も様々となっていますので、そんな考えも必要だと思っています。

質問通告書の提出と同時に猛勉強が始まります。対戦相手（行政の事務方）はプロですので、知っています。当たり前なので、議員が無知な質問をしては、改善提案にはなりません。

ある意味、議員は広く浅くがベターのようですが、部分的にマニアック的なオタクぽさがあると、面白い

質問になりますね。

質問の持ち時間は、答弁を合わせ六十分と決められていて、内容の展開については、いつも頭を抱えています。

イントロの部分がいまいち浮かばず、二週間も悩んだこともありました。

財政の質問の際、イソップ童話の「アリとキリギリスを引用して、後世のために貯金しましょう。」と説明しましたが、あまり冒頭にこだわらずに内容が薄くなってしまうのは質問する意味がなくなります。

私の場合、質問は、あらかじめ答弁を予想することも多いですね。「こんな回答が来たら、再質問はこんなことを聞こう。」という

いろ考えて、最終的に結論や要望を述べます。意外性のある答えが返ってくるのとワクワクして燃えます。

今では、職員に私の性格や思考パターンが分析されているようです。

最近「一般質問とは職員

に考えるきっかけをつくること」ではないかと考えるようにもなりました。

議員が行政視察や、個人的に調査したことで、上尾市が取り組んでいない、ユニークな事例などは、職員にとっても非常に勉強になることです。

財政事情で早急に対策が取れない場合の方が多いのですが、私の提言が行財政三カ年計画や、市の総合計画に反映すると、非常に嬉しく思います。

限られた財源です。支出要望だけでなく、どこを節約してどこに使うか、借金増や収入減をどうするのか。

将来の上尾市をどうするのか、市民みんなで作るければなりません。

皆さんの要望・ご意見を基に、質問にまとめる課程や、結果がすぐ見える市議会議員の仕事は、やり甲斐があります。

これからも、**深山たかし**を応援してください。

どれだけの応援者がいるのかも発言力に繋がります。

六月議会の一般質問

教師が授業に専念できる体制づくりについて

教師が以前に比べて忙しくなったと言う話をよく聞きます。

調べてみたところ、脱「ゆとり教育」で教師の負担が増える一方で事務作業に忙殺され、仕事を自宅に持ち帰らなければならない教師像が伺えます。

授業以外で部活動の顧問、保護者・外部との対応などもウエイトが大きいこともわかりました。

子供たちと向き合う時間を確保するためには、事務作業を少なくすることや部活動に関わる時間を軽減することが重要ではないかと考えました。

教育現場では民間企業と比較し分業化が非常に遅れています。

教師の事務処理を専門的にアシストをする部門を設置できれば、教師が授業に集中できると思います。

また、中学校の部活動を教師と分離できないかも質問いたしました。教育の一環として必要な事項とのことで、現状では克服すべき課題も多いようです。全国的な問題ですが、抜本的な、業務改善が急務だと思います。

防災ラジオの普及について

議員になる以前から、市の防災行政無線（屋外スピーカー）の音声聞き取りにくいと感じておりましたので、近年各自治体でも導入が進んでいる**防災ラジオ**を上尾市でも普及できないかを聞きました。

防災ラジオとは、普段はAMやFM放送を聞いていても市からの緊急通報が屋外スピーカーから流れると自動的にその無線をキャッチして聞くことのできるラジオのことです。

市場価格は、八千円前後ですが、導入した自治体では、三分に一から二分の一を補助して斡旋しています。災害時には、地域に密着したタイムリーな情報を提供することが混乱を避ける意味からも重要となります。是非、前向きな検討をお願いしたいものです。



これが防災ラジオです。ラジオのほかにライトもついている優れたものです。

情報化について

情報推進課で管理しているパソコンは、全庁で一、〇七五台あります。ワープロや表計算ソフトなどのソフトウェア更新料も年間平均六五〇万円が必要になっています。

無料のソフトに入れ替えることで、経費の削減が可能ではないかと考えています。（現状では互換性の問題もあって難しいようです。）

私の提言で今期実現できる事業

①九月敬老月間での、くるとくくん無料化の実施



②所有者の皆さんのご理解とご協力により上平地区宮の下集会所東側の林をふれあいの森として整備できることになりました。



③市税が近くのコンビニエンスストアから納付できるようにになりました。

④市のホームページに月ごとの「イベントカレンダー」が掲載されました。

